

原水協活動 FAX News

発行: 原水爆禁止日本協議会

電話 03 5842 6031 FAX 03 5842 6033

URL <http://www10.plala.or.jp/antiatom/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年5月2日 No.47

原水協
通信

全国理事会までに倍加の方針決定—福岡

30部以上の拡大者には世界大会国際会議に招待する顕彰制度も

福岡県原水協は4月25日、第200回常任理事会を開き、世界大会成功のために国際会議30、広島大会300、長崎大会1000人の代表派遣目標を決めました。この達成のために各界への支持・賛同要請、加盟団体、地区原水協への協力要請、バッジ、パンフ、ポスターなどの大会資材の大量普及をはかりながら大会パンフによる大小無数の学習会の開催をよびかけ、代表派遣募金を精力的にとりくむことを決めました。

「原水協通信」の拡大については来年の全国理事会までに「原水協通信」を倍加する方針を決め、各地区原水協、加盟団体に拡大要請数を示して30部以上の拡大者には世界大会国際会議に招待する顕彰制度を設けました。早速、八幡原水協の事務局長から3部拡大の報告がありました。

常任理事会決定実践！08世界大会成功へ各地で奮闘開始！！

「すみやか署名」NPTまでに20万筆目標 **熊本**

常任理事会決議うけ熊本では4月26日、総会を開催、日本原水協・赤松宏一代表理事が記念講演しました。総会には約50人が参加、各地各界から活発な発言があいつぎ、世界大会にむかう諸課題を具体化し実践を開始しました。「6・9行動」で著名な熊本らしく、「すみやか」署名で交流、熊本市とともに八代市の環境フェスタに写真展と署名で参加するなどし、署名到達は6万、世界大会までに10万筆、2010年NPTまでに20万筆と目標を確認しました。原爆写真展は世界大会までに100回、NPTまでに500回を目標とすることも決めました。世界大会は過去最高の参加者を目標とし、広島100人、長崎200人を確認、非核日本宣言運動は、現在5市、4町、2市から賛同が寄せられ、11議会が意見書をあげており、これらの全自治体達成ととともに、意見広告ポスターを作り500人の賛同者を組織しようと目標を決めました。

2010年へ2カ年計画決め奮闘 **福井**

同26日午後、福井県原水協の総会と平和行進県実行委員会が開かれました。水谷辰也事務局長の講演後、活動交流と世界大会に向け諸課題の具体化をおこない積極的な討論をおこないました。2010年にむけ「2カ年計画」をたて、署名運動や原爆展運動を推進するとともに、NPT再検討会議がひらかれるニューヨークへ、福井からの代表団員を今から募っていこう。05年の8人を2010年は10人を派遣することにし、財政面でも保証できるよう今から運動を広げていこうと確認しました。

栃木 ちひろ講演会を開きます

栃木県原水協は7月21日に栃木県教育会館ホールで松本由理子さん（ちひろ美術館・東京副館長）のちひろ講演会をひらくことになりました。講演会は、栃木県内での平和大行進が埼玉県に引き継がれ、原水爆禁止世界大会への準備が進められる時期に開かれます。栃木県原水協の福田台事務局長は、「これまで原水爆禁止運動に疎遠であった方とも、この講演会を通じ結びつきを強めていきたい」と話しています。なお、宇都宮美術館では、7月26日から8月31日まで企画展「わたしが選んだいわさきちひろ展」が開かれることが決まっており、講演会とあわせてちひろへの関心の広がり、カレンダー普及にむけた気運の高まりが期待されています。